

○水生生物モニタリング調査結果一覧（阿武隈川A、B）

<阿武隈川A,B 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
A-1	○	○	○	○	○	○
A-2	○	○	○	—	○	—
B-2	○	○	○	—	○	—
B-3	○	○	○	—	○	—

<阿武隈川A,B 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
A-1 (表層)	37.6210°	140.5218°	H29.11.8	09:30	09:40	11.1	11.3	砂	2.5Y4/4	なし	7.90	>50 (2.0m)*		
A-1 (下層)				08:58		10.8								
A-2	37.5673°	140.3946°		11:07	11:13	10.7	10.7	砂	2.5Y4/6	なし	1.00	>50		
B-2	37.8121°	140.5058°		14:30	14:37	11.6	11.8	細砂	2.5Y4/3	なし	0.52	>50		
B-3	37.8182°	140.4679°		13:22	13:32	11.7	11.8	砂	2.5Y3/3	植物片少々	0.50	>50		

*: () 内の数値は、透明度を示す。

<阿武隈川A,B 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
A-1 (表層)	37.6210°	140.5218°	H29.11.8	09:30	7.2	0.6	2.7	10.6	14.8	0.08	1.2	4	2.6	N.D. (0.0011)	0.0073	0.0011
A-1 (下層)				08:58	7.4	0.6	2.9	10.9	15.1	0.08	1.2	4	2.6	0.0024	0.015	—
A-2	37.5673°	140.3946°		11:07	7.3	<0.5	2.2	11.3	9.5	0.05	0.7	2	1.3	0.0017	0.014	—
B-2	37.8121°	140.5058°		14:30	7.3	<0.5	2.7	10.9	13.6	0.07	1.1	4	3.1	0.0013	0.012	—
B-3	37.8182°	140.4679°		13:22	7.4	<0.5	2.8	11.2	8.1	0.05	1.1	2	2.2	0.0011	0.0087	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<阿武隈川A,B 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
A-1	37.6210°	140.5218°	H29.11.8	09:40	7.5	318	24.6	1.4	1.6	2.701	0.1	2.7	75.7	18.7	1.4	1.4	0.39	4.8	20	140	0.20
A-2	37.5673°	140.3946°		11:13	7.2	330	25.0	1.6	2.4	2.738	15.8	37.3	40.7	4.1	1.3	0.8	0.91	4.8	17	140	—
B-2	37.8121°	140.5058°		14:37	7.4	327	24.2	1.7	1.6	2.727	0.1	0.8	56.6	39.4	1.4	1.7	0.27	4.8	18	130	—
B-3	37.8182°	140.4679°		13:32	7.2	316	23.6	1.4	1.8	2.707	17.7	36.5	33.7	6.7	3.6	1.8	0.94	9.5	13	110	—

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<阿武隈川A,B 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
A-2	原瀬川	37.5673°	140.3946°	H29.10.17	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物(藻類を含む)	—	0.0065	—	—	—	120	20	100	—	
					節足動物	軟甲	エビ	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i>	サワガニ	3	0.0054	未成体	—	—	—	9.5	N. D. (8.7)	9.5	—
					節足動物	軟甲	エビ	ヌマエビ	<i>Neocaridina sp.</i>	カワリヌマエビ属	404	0.28	未成体	—	—	—	17.1	2.1	15	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	25	0.17	未成魚/成魚	—	—	—	8.75	0.95	7.8	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Nipponocypris temminckii</i>	カワムツ	15	0.069	未成魚	—	—	—	7.63	0.83	6.8	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Noemacheilus barbatulus</i>	フクドジョウ	10	0.16	未成魚	—	—	—	6.23	0.93	5.3	—
					脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	12	0.093	成体	—	—	—	6.3	N. D. (0.55)	6.3	—
粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
B-2	阿武隈川本流	37.8121°	140.5058°	H29.10.22	脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	3	0.94	成魚	コケ類	—	内臓除去	23.0	2.0	21	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbus</i>	ニゴイ	3	3.8	成魚	空胃	—	内臓除去	7.38	0.88	6.5	0.36
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0.89	成魚	空胃	—	内臓除去	18.7	1.7	17	—
B-3	摺上川	37.8182°	140.4679°	H29.10.19	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物(藻類を含む)	—	0.018	—	—	—	117	17	100	—	
					藻類・植物	単子葉植物	イハモ	ヒルムシロ	<i>Potamogeton crispus</i>	エビモ	—	0.043	—	—	—	—	10.1	1.4	8.7	—
					節足動物	昆虫	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	314	0.083	幼虫	—	—	—	15.7	1.7	14	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	50	0.044	幼虫	—	—	—	3.2	N. D. (1.5)	3.2	—
					脊椎動物	硬骨魚	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>	カジカ	5	0.065	未成魚	—	—	—	3.0	N. D. (0.80)	3.0	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	14	0.18	成魚	—	—	—	6.13	0.63	5.5	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	ドジョウ	<i>Noemacheilus barbatulus</i>	フクドジョウ	20	0.27	未成魚	—	—	—	4.43	0.53	3.9	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	8	0.19	未成魚	ヒゲナガカワトビケラ	—	内臓除去	2.6	N. D. (0.55)	2.6	—
					脊椎動物	両生	無尾	アカガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	ウシガエル	4	0.068	成体	—	—	—	12.5	1.5	11	—
					脊椎動物	両生	無尾	アカガエル	<i>Rana rugosa</i>	ツチガエル										
					粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	—	—	—	—	—	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N. D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。